

新理数教育 II, IV
学内サテライト (宇治担当)

○概要

新理数教育 II と IV に関しては、関連した形で進める。

説明会資料にあるように新理数教育 IV は「教科書研究」として新理数で学んだ教科専門性と教育実践性を自身の力で結実させる。そこで、新理数教育 II は IV で必要なこの二つの要素（教科専門性・教育実践性）のうち教科専門性を深化させることを目的とする。

回数：15 回程度（要相談）

場所：理科 1 棟 2 階 オープン・サイエンス・ラボ
または宇治の居室

時間：受講者と宇治の都合を勘案して決定する

2024 年度：水曜 3 コマ

○初回について

・日時：受講者と宇治の都合を勘案して決定する

2024 年度：10 月 30 日 13 時 00 分（宇治の居室）

・所要時間：1 時間程度

・内容：顔合わせ、ゼミの進め方などの相談

*顔合わせの後に、ゼミを変更して貰っても問題ありません。

○目的など

・新理数教育 II

与えられたテーマについて、詳細に調査し、その成果を発表する。

・新理数教育 IV

新理数教育での 3 年間の学び（教科専門性・教育実践性）を自分で研究し作成する教科書・教材に結実させる。「教科書研究発表会」にて、その成果を発表する。

・新理数教育 I・III との関連

新理数教育 I と III では、「化学と暮らしの密接な関係」が題材の教科書の輪読を行いました。「化学の基礎」、「エネルギーと環境」、「からだの化学」に大別された幅広い内容について記載された教科書を用いて、「化学の言語と発想」の修得を目指して輪読を行いました。

新理数教育 II では、題材を絞って小中高の義務教育レベルから大学レベルの内容までの理解の幅を広げ、教科専門性をより深く修得することを目的としています。

「ミクロの出来事が物質の多彩な性質を織り上げ、物質たちが日々の暮らしを支えてくれる
そんな化学の世界に分け入り、楽しみながら知恵を身につけていただけるよう願っている」

教養の化学 まえがきより

○進め方

- ・定例ゼミ

回数：15 回程度（要相談）

場所：理科 1 棟 2 階 オープン・サイエンス・ラボ
または宇治の居室

時間：受講者と宇治の都合を勘案して決定する

2024 年度：水曜 3 コマ

内容：各自の作業で相談や調整が必要な事項についての打ち合せ、情報共有など

- ・発表練習会

回数：2 回

ゼミ中間発表会（12 月中旬～下旬）

ゼミ最終発表会（2 月中旬～下旬）

発表時間：一人発表 10 分程度、**質疑応答等も併せて 20 分以内**

発表資料：PPT で作成すること

○題材等

- ・新理数教育 II

「五感と化学」をテーマにゼミを構築していきます。視覚・嗅覚・味覚・触覚・聴覚のうち、**2024 年は視覚**にします。各感覚に関する化学からテーマを各自で設定すること

- ・新理数教育 IV

各自、自由に決めること

○作成する要素

- ・新理数教育 II

まとめ、発表資料 PPT

- ・新理数教育 IV

まとめ、要旨、教科書、発表資料 PPT

○スケジュール感（たぶん）

月	新理数教育 II	新理数教育 IV
11	テーマを絞る	文献調査、背景の確認
12	文献調査など	深める作業
1	深める作業	教科書作成
2	発表資料作成	発表資料作成

**皆さんの発表資料は、このゼミが開催される限りは過去の発表例として提示します。御了承下さい。

作成したファイルは全て宇治に共有して下さい。（Teams にフォルダを作成しているの**でそこに提出する）